

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	国際的な沖縄観光ブランドの確立	施策	① 環境共生型観光の推進
			施策の小項目名	—
主な取組	環境共生型観光の推進			
対応する主な課題	①観光リゾート産業のさらなる振興に向けては、沖縄の重要な観光資源である自然環境や「沖縄らしい」風景・景観の保全・再生を図りつつ、文化、スポーツ、医療サービス等を観光資源として利活用し、沖縄観光の魅力の再構築を図るなど、世界水準の観光リゾート地としてのブランドイメージを高めることが重要な課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
環境共生型観光の推進のため、市町村、地域の協議会等が行う自然環境等の保全に配慮した観光地づくりへの取組を支援することにより、沖縄観光の持続的発展を図る。 具体的には、地域活性化に資する持続可能な観光を推進するため、人材育成や普及啓発活動等を行う。		1件				→
実施主体	県、市町村					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課	【098-866-2764】			地域が行う観光資源の利用ルール等のプロモーション、人材育成などへの支援	

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名 環境共生型観光推進事業							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：平成29年度事業終了。	
一括交付金(ソフト)	負担	23,587	8,244	39,744	—	—	—		OR2年度：平成29年度事業終了。	
予算事業名 エコツーリズム推進プラットフォーム事業							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：今後県が推進すべき持続可能な観光とそれを推進する団体についてのあり方検討会を実施した。また人材育成を目的としたセミナーを実施した。	
県単等	委託	—	—	—	4,433	6,148	5,964	県単等	OR2年度：令和元年度の検討会でまとめた県への提言書の内容を具体化するために、具体的な対応を検討する。	

様式1(主な取組)

活動指標名	環境保全活動支援数				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	1件	1件	1件	1件	1件	1件	100.0%	6,148	順調	令和元年度はエコツーリズム推進プラットフォーム事業にて、地域活性化に資する持続可能な観光(サステイナブル・ツーリズム)を推進するため、人材育成や普及啓発活動等に取り組んだ。
活動指標名	プロモーション支援				R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	1件	1件	2件	1件	1件	1件	100.0%			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										環境保全活動支援として、NPO法人沖縄エコツーリズム推進協議会の活動支援を行った。またプロモーション支援として、持続可能な観光(サステイナブル・ツーリズム)に関する国内外の情勢や諸課題などをテーマとしたシンポジウムを開催するなど、自然環境に配慮した持続可能な観光を推進した。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保全利用協定締結地区への支援及び未締結地区への普及は自然保護課が中心となり事業を実施していくこととなったが、当課では必要な場合その支援を行う。</li> <li>・ 地域活性化に資する持続可能な観光形態であるエコツーリズムを推進するため、人材育成や普及啓発活動等に取り組む。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保全利用協定締結地区を増やすため、令和元年度は自然保護課において、締結事業者に対しアンケート調査を実施し、認定事業者が求めるメリットや制度のあり方等を再検討した。</li> <li>・ 令和元年度はエコツーリズム推進プラットフォーム事業にて、地域活性化に資する持続可能な観光(サステイナブル・ツーリズム)を推進するため、人材育成や普及啓発活動等に取り組んだ。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・ 保全利用協定は、事業間だけの自主ルールによる運用が前提となっており、保全利用協定の認定を受けるメリットの創出や、協定締結事業者を増やすための施策が必要である。

##### ○外部環境の変化

・ 世界自然遺産登録推薦の動きなどもあり、持続可能な環境共生型の観光推進に向けた関心の高まりがある。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 保全利用協定未締結地域における普及活動においては、所管課である自然保護課と連携しながら、事業者への参画促進のための働きかけを行う必要がある。  
・ 地域活性化に資する持続可能な観光 (サステイナブル・ツーリズム) を推進するため、継続的に人材育成や普及啓発活動等に取り組む必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・ 保全利用協定締結地区への支援及び未締結地区への普及は自然保護課が中心となり事業を実施しているが、多くの事業者に参画してもらえるよう、当課でも周知等の支援を行う。  
・ 地域活性化に資する持続可能な観光 (サステイナブル・ツーリズム) を推進するため、人材育成や普及啓発活動等に取り組む。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	国際的な沖縄観光ブランドの確立	施策	① 環境共生型観光の推進
			施策の小項目名	—
主な取組	エコツーリズムの推進			
対応する主な課題	①観光リゾート産業のさらなる振興に向けては、沖縄の重要な観光資源である自然環境や「沖縄らしい」風景・景観の保全・再生を図りつつ、文化、スポーツ、医療サービス等を観光資源として利活用し、沖縄観光の魅力の再構築を図るなど、世界水準の観光リゾート地としてのブランドイメージを高めることが重要な課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
自然環境に配慮し、安全性の高い高品質なエコツーリズムを推進するため、沖縄のエコツーリズムメニュー等に関する情報発信支援及びエコツーリズム関連の人材育成支援を行う。		3件 情報発信等支援数				
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【098-866-2764】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	エコツーリズム推進プラットフォーム事業						R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：全県的にエコツーリズムを推進していく体制の検討会を実施した。また、普及啓発活動として、フォーラムを開催し人材育成及び情報発信を実施した。 OR2年度：令和元年度でまとめた提言内容の実現に向けて取組みを図りつつ、普及啓発活動を実施していく。
							県単等	委託	

様式1(主な取組)

活動指標名	エコツーリズムに係る情報発信等支援件数				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	3件	3件	3件	2件	2件	3件	66.6%	6,148	やや遅れ	エコツーリズムを含む持続可能な観光に係るシンポジウムを開催し、情報発信を行った。また、NPO法人沖縄エコツーリズム推進協議会と連携を図りながら、全県的な持続可能な観光への活動を支援した。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			NPO法人沖縄エコツーリズム推進協議会と連携を図りながら、今後の県内におけるサステイナブルツーリズムのあり方を検討する等、全県的な持続可能な観光への活動を支援した。 またサステイナブル・ツーリズムのシンポジウムを開催し、国内外の潮流や西表島の取組みについて事例紹介を行うなど、沖縄の持続可能な観光を推進した。
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<p>・NPO法人沖縄エコツーリズム推進協議会と連携を図りながら、全県的にエコツーリズムを推進していく体制の検討を行い、関係事業者等と実現に向けた調整を実施する。</p>						<p>・令和元年度はエコツーリズム推進プラットフォーム事業にて、NPO法人沖縄エコツーリズム推進協議会と連携を図りながら、全県的な持続可能な観光と推進体制について検討を行い、県への提言書をまとめた。</p>				



## 様式1(主な取組)

### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

#### ○内部要因

・ エコツーリズム事業者や市町村ごとの推進体制について、各地域の自然環境の違い等から由来する濃淡があり、全県的な取り組みに発展していない。

#### ○外部環境の変化

・ 世界自然遺産登録推薦の動きなどもあり、持続可能な観光の推進に向けた関心の高まりがある。

### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 地域活性化に資する持続可能な観光 (サステイナブル・ツーリズム) を推進するため、継続的に人材育成や普及啓発活動等に取り組む必要がある。



## 4 取組の改善案 (Action)

・ 地域活性化に資する持続可能な観光 (サステイナブル・ツーリズム) を推進するため、人材育成や普及啓発活動等に取り組む。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	国際的な沖縄観光ブランドの確立	施策	② 沖縄独自の観光プログラムの創出
			施策の小項目名	○高付加価値型観光・着地型観光の推進
主な取組	ウェルネスツーリズム等の推進			
対応する主な課題	①観光リゾート産業のさらなる振興に向けては、沖縄の重要な観光資源である自然環境や「沖縄らしい」風景・景観の保全・再生を図りつつ、文化、スポーツ、医療サービス等を観光資源として利活用し、沖縄観光の魅力の再構築を図るなど、世界水準の観光リゾート地としてのブランドイメージを高めることが重要な課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画					
		H29	H30	R元	R2	R3	
沖縄の自然環境資源や健康保養施設等を活用したウェルネスリゾート地としての体制を構築するため、ウェルネス・医療ツーリズム等に関連した事業に先進的に取り組む事業者等の支援を行うとともに、ウェブサイトでの情報発信を行う。		ウェルネスツーリズムに取り組む県内事業者に対するコンテンツ開発及びプロモーション活動等の支援					
実施主体	県						
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【098-866-2764】						

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名 ウェルネスリゾート構築推進事業							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：平成29年度で事業が終了しているが、当事業にて開発したウェルネスプログラムをWeb上で継続的に活用し情報発信を行っている。 OR2年度：令和元年度と同様に活用を促す。	
一括交付金(ソフト)	補助	33,620	17,285	5,970	—	—	—			
予算事業名 沖縄観光国際化ビックバン事業							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：平成30年度事業で終了。 OR2年度：—	
一括交付金(ソフト)	委託	—	—	—	954,061	—	—			

様式1(主な取組)

予算事業名							R2年度				令和元年度活動内容と令和2年度活動計画		
観光誘致対策事業							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画				
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：令和元年度は、タイでの沖縄トップセールス及びセミナー商談会にて事業者を支援した。				
県単等	委託	—	—	—	—	124,933	—		OR2年度：—				
活動指標名	事業者支援及びウェブサイトでの情報発信				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要			
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B	124,933	順調	<p>観光誘致対策事業にて、沖縄トップセールス及びセミナー商談会をタイで実施し、県内事業者の取組みを支援した。</p> <p>また、平成29年度ウェルネスリゾート構築推進事業にて商品化したプログラムを、令和元年度もWeb上で継続的に活用し、情報発信を行っている。</p>			
	実施	実施	実施	実施	実施	—	100.0%						
活動指標名					R元年度							<p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>観光誘致対策事業として、タイで沖縄トップセールス及びセミナー商談会を行ったが、健康、癒やし、保養など沖縄観光の魅力を紹介し商談会を実施する等、県内事業者の取組みを支援した。</p> <p>また、平成29年度ウェルネスリゾート構築推進事業にて商品化したプログラムを、令和元年度もWeb上で継続的に活用し情報発信を行っており、沖縄におけるウェルネスツーリズムを推進した。</p>	
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B						
活動指標名					R元年度								
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B						
(2)これまでの改善案の反映状況													
令和元年度の取組改善案						反映状況							
<p>・平成31年以降も引き続き、ウェルネスコンテンツ開発を行う事業者への支援を実施するとともに、情報発信を行う。</p>						<p>・令和元年度は、観光誘致対策事業にて、沖縄トップセールス及びセミナー商談会をタイで実施し、事業者支援を行った他、平成29年度ウェルネスリゾート構築推進事業にて商品化したプログラムを、令和元年度もWeb上で活用し情報発信を行っている。</p>							



## 様式1(主な取組)



### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・ 沖縄らしいウェルネス関連商品及びPRが不足している。

##### ○外部環境の変化

- ・ 医療ツーリズムについては、日本医師会が、国民皆保険の崩壊に繋がるとして反対の姿勢を明確に示しており、県内においても医療ツーリズムに積極的に取り組む医療機関は数カ所にとどまっている。
- ・ 超高齢社会を迎え、時間とお金に余力のあるアクティブシニアを代表とした健康志向の高まりを受け、旅行しながら健康になれるという旅行形態へのニーズがある。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 日本の医療制度や医師会等の動向を慎重に見極めながら、沖縄の強みである豊かな自然、温暖な気候、癒やし等を活用したウェルネスツーリズムを推進するため、沖縄らしいウェルネス関連商品を増やすと共にPRしていく必要がある。



### 4 取組の改善案 (Action)

- ・ 令和2年度以降も引き続き、ウェルネス関連事業者等への支援を実施するとともに、情報発信を行う。



様式1(主な取組)

活動指標名	沖縄の観光資源を活用した観光商品の開発支援				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	20件	21件	11件	12件	12件	12件	100.0%	99,000	順調	<p>国内外からの観光誘客拡大につながる、沖縄の観光資源を生かした観光メニューやMICEメニューを開発する地域観光協会や民間企業等の自主的な取り組みを促進集中的に支援し、自走化を促す。</p>
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										<p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>観光メニュー開発やMICEメニュー開発の商品支援件数が計画12件に対し、実績が12件となり取組を着実に推進していることから順調とした。</p> <p>支援した事業が自走化することで、沖縄の資源を生かした観光コンテンツが増え、滞在日数の延伸や消費額の向上が図られた。</p>
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<p>・アドバイザーを効果的に派遣し各種助言を行うとともに、事業者交流会を開催し事業者間の連携促進を図り事業内容の向上に努める。</p>						<p>・各事業ごとに専門のアドバイザーを派遣し助言を行った。また、過去支援事業を対象とした開発商品商談会を実施し事業者間の交流を図った。</p>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・ 支援期間が1年間のため、早い段階からアドバイザーによる支援を要する。

##### ○外部環境の変化

- ・ 国際関係の悪化やパンデミック等による、通常予測しがたい観光産業への影響に対応した事業運営が求められる。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 事業の自走化率を高めるために、実施支援委員会での専門的なアドバイスを事業者へ反映させる体制を整える必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・ 専門のアドバイザーを効果的に派遣し、実施支援委員会でのアドバイスを反映させる助言行えるよう、実施支援協議会等を開催し委員とアドバイザーの連携促進を図ることで事業内容の向上に努める。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	国際的な沖縄観光ブランドの確立	施策	② 沖縄独自の観光プログラムの創出
			施策の小項目名	○高付加価値型観光・着地型観光の推進
主な取組	沖縄リゾートダイビング戦略モデルの構築			
対応する主な課題	①観光リゾート産業のさらなる振興に向けては、沖縄の重要な観光資源である自然環境や「沖縄らしい」風景・景観の保全・再生を図りつつ、文化、スポーツ、医療サービス等を観光資源として利活用し、沖縄観光の魅力の再構築を図るなど、世界水準の観光リゾート地としてのブランドイメージを高めることが重要な課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
インバウンドの更なる拡大等を図るため、ダイビング事業者の経営強化および外国人ダイバーの受入のための体制整備を行う。		セミナー 開催件数 5件	セミナー 開催件数 1件			
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課	【098-866-2764】	ガイドダイバー育成セミナーの実施	海外ダイバー受入態勢整備に係るセミナー等の実施		

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名	リゾートダイビングアイランド沖縄形成事業						R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：平成29年度で事業が終了している。	
一括交付金(ソフト)	委託	26,632	25,030	26,209	—	—	—		OR2年度：	
予算事業名	観光危機管理支援対策事業						R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：平成30年度事業で実施。(令和元年度はなし)	
一括交付金(ソフト)	委託	—	—	33,056	22,561	—	—		OR2年度：	

様式1(主な取組)

予算事業名							R2年度				令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
観光人材育成・確保促進事業							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画			
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：令和元年度事業で実施。			
一括交付金(ソフト)	委託	—	—	—	—	103,620	—		OR2年度：			
活動指標名	海外ダイバー受入態勢整備に係るセミナー等開催件数				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要		
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			令和元年度は、観光人材育成・確保促進事業にて、県内ダイビングインストラクター及びライフガードを対象とした安全管理技術向上の研修会等への支援を行った。		
	8件	6件	6件	1件	19件	—	100.0%	103,620	順調	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果		
活動指標名					R元年度					令和元年度は、観光人材育成・確保促進事業にて、県内ダイビングインストラクター及びライフガードを対象とした安全管理技術向上の研修会等への支援(補助)を行い、海外ダイバーを含む観光客が、安全・安心・快適に沖縄ダイビングを楽しめる受入態勢整備を推進した。		
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
活動指標名					R元年度							
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
(2)これまでの改善案の反映状況												
令和元年度の取組改善案						反映状況						
・県内ダイビング事業者等に対し、世界水準の観光地「沖縄」としてのブランド確立がいかに重要かといった意識啓発を含めたセミナーを実施し、海外ダイバーの受入環境整備や安全・安心・快適なダイビングの提供を推進していく。						・令和元年度は、海外ダイバーを含む観光客が、安全・安心・快適に沖縄ダイビングを楽しめる受入態勢整備のため、県内ダイビングインストラクター及びライフセーバーを対象とした安全管理技術向上の研修会等への支援を行った。						

## 様式1(主な取組)



### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・ 県内ダイビング事業者において、海外ダイバー受入環境整備の必要性の認識がまだ低い状況がある。
- ・ 県内ダイビング事業者において、安全・安心・快適なダイビングの提供を行うことが重要であるとの認識が低い状況がある。

##### ○外部環境の変化

- ・ 県内ダイビング事業者では、資本力の豊かな事業所などは海外ダイバーの受入に積極的であるが、零細企業ではそうではなく、海外ダイバー受入態勢の整備や安全・安心・快適なダイビングの提供に差がある。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 県内ダイビング事業者等に、海外ダイバーの受入環境整備の推進や安全・安心・快適なダイビングの提供を行うことが、世界有数の観光リゾート地「沖縄」のブランド化に繋がり、それが安定的な収入に繋がるとの認識を持ってもらう必要がある。



### 4 取組の改善案 (Action)

- ・ 県内ダイビング事業者等に対し、世界有数の観光リゾート地「沖縄」としてのブランド確立がいかに重要かといった意識啓発を含めたセミナーを実施し、海外ダイバーの受入環境整備や安全・安心・快適なダイビングの提供を推進していく。





様式1(主な取組)

活動指標名	国内・海外旅行博等におけるプロモーション				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	15回	15回	9回	10回	8回	100.0%	44,363	順調	<p>国内について、東京のイベントに出展した。また、海外については台湾で県主催のイベントを開催し、中国では現地のイベントにブース出展を行った。また、香港においてはブランディングとして、デジタル広告配信をおこない、ブランドサイトへの誘導を図った。</p>
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			<p>海外については、台湾で個別販売会(1回)を実施し、成約74組であった。</p>
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<p>・沖縄リゾートウエディングの価値の維持・向上を図るため、沖縄リゾートウエディングのブランディングとして、イメージを訴求するツールを制作し、WEB・SNSもしくはイベント等を活用し、イメージの刷り込みを行う。</p> <p>・中国市場において、沖縄リゾートウエディング商品の販売を促進させるためプロモーションを実施する。</p>						<p>・沖縄リゾートウエディングのブランディング第1弾として、沖縄の自然、沖縄らしい風景、沖縄のスタッフのおもてなし、沖縄に溶け込む新郎新婦をキービジュアル、ムービーに落とし込み、香港市場でデジタル広告配信をおこない、ブランドサイトへの誘導を図った。</p> <p>・上海において、年4回開催されているウエディングエキスポにブース出展し、来場者に対して、沖縄リゾートウエディングのフォトブック等のツールを用いて、沖縄リゾートウエディングの需要喚起を行った。</p>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・ 沖縄は、チャペルウエディング、ビーチウエディング、ガーデンウエディング、ホテルウエディング、フォトウエディング、琉装挙式など、様々なスタイルのウエディングが商品化されており、新郎新婦が行いたい挙式を実現することができる。

・ 沖縄には、リーガルウエディング（海外において、その国の民法に基づいて行われる挙式スタイルのこと）の受入可能な市町村がある。

##### ○外部環境の変化

・ 国内市場において、引き続き、少子高齢化や経済的な理由から結婚式をしない層、結婚式に意義をみいだせない「ナシ婚」層が増加している。

・ 沖縄リゾートウエディングの統計調査（沖縄県観光振興課実施）の結果から、単価の高い商品から手の届きやすい価格帯の商品に移行しているといえる。

・ 香港市場において、沖縄人気が一巡し、他のディスティネーションの販売が進んでいるとの情報があり、近年、沖縄での挙式組数は減少している。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ リゾートウエディング等の消費単価向上を図るため、沖縄で記念日を過ごすことに対する価値を伝える取り組みを強化する必要がある。

・ 国内・海外ともにウエディング市場の縮小が見られるため、新たな市場の開拓を積極的に行う必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・ 沖縄リゾートウエディングのブランディング強化として、令和2年度については国内を中心としたブランディングを行い、沖縄リゾートウエディングに対して良いイメージの醸成を図る。

・ 新たな市場の開拓として、令和2年度からはインド市場を本事業の対象に加え、プロモーションを展開する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	国際的な沖縄観光ブランドの確立	施策	② 沖縄独自の観光プログラムの創出
			施策の小項目名	○高付加価値型観光・着地型観光の推進
主な取組	Be. Okinawa琉球列島周遊ルート形成推進事業			
対応する主な課題	⑤国際的な沖縄観光ブランドの確立に向けて、国内観光客のみならず、アジア地域や欧米等の外国人観光客を誘致する必要があり、沖縄本島に加えて、自然、文化等多様な魅力を有しながら認知度等に課題がある離島地域の積極的な活用が課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
平成28年に国土交通大臣より認定を受けた『Be. Okinawa琉球列島周遊ルート形成計画』の推進により、外国人観光客の本島から離島への周遊観光を促進し、離島観光の推進・滞在日数の延伸に取り組む。		マーケティング調査				
		受入体制整備、交通アクセスの円滑化				
		滞在コンテンツの充実				
		対象市場に向けた情報発信、プロモーション				
実施主体	国、県					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課		【098-866-2764】			

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名 Be. Okinawa琉球列島周遊ルート形成推進事業							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度： 予算事業はH30年度で完了しているが、マーケティング調査やプロモーション等を引き続き実施している。 OR2年度： 引き続きマーケティング調査やプロモーション等を引き続き実施する。	
県単等	委託	—	—	10,517	20,000	0	—			

様式1(主な取組)

活動指標名	マーケティング調査				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要		
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
	—	—	国外にお ける市場 調査	国外にお ける市場 調査	国外にお ける市場 調査	国外にお ける市場 調査	100.0%	0	順調	事業で培われたノウハウを活用して外国人観光客を対象としたマーケティング調査やプロモーションを実施しており、本島から離島への周遊観光促進に取り組んでいる。		
活動指標名	情報発信やプロモーション				R元年度					R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
	—	—	国外への 情報発信	国外への 情報発信	国外への 情報発信	国外への 情報発信	100.0%	0	順調	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 活動指標の観光ストーリー策定及び情報発信の委託業務は平成30年度に完了しているが、引き続き本島から離島への周遊観光も含めた沖縄観光のマーケティング調査やプロモーション等を実施し、その中で本事業で培われたノウハウを活用しており、取り組みは順調である。		
活動指標名					R元年度					R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
								0	順調			
(2)これまでの改善案の反映状況												
令和元年度の取組改善案						反映状況						
<p>・当初の事業目的が概ね達成されたと考えられることから、平成30年度で事業終了とする。今後は、外国人観光客の誘致を目的に運営されているBe. Okinawaブランドサイトや、VISIT OKINAWAサイトと連携した情報発信を図っていく。</p>						<p>・外国人観光客の誘致を目的に運営されているBe. Okinawaブランドサイト内に、平成30年度に作成した周遊ルートの情報発信サイトへのリンクを設置し、利用促進を図った。</p>						



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ 事業が平成30年度で終了となっている。

○外部環境の変化

- ・ 新型コロナウイルス感染症により旅行需要が低下している。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 平成30年度で事業終了となっていることから、今後は、当事業で得られたノウハウを、外国人観光客の周遊観光促進に活用していく必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・ 今後は、外国人観光客の誘致を目的に運営されているBe. Okinawaブランドサイトや、VISIT OKINAWAサイトと連携した情報発信を図る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	国際的な沖縄観光ブランドの確立	施策	② 沖縄独自の観光プログラムの創出
			施策の小項目名	○高付加価値型観光・着地型観光の推進
主な取組	外国人観光客受入体制強化事業			
対応する主な課題	①観光リゾート産業のさらなる振興に向けては、沖縄の重要な観光資源である自然環境や「沖縄らしい」風景・景観の保全・再生を図りつつ、文化、スポーツ、医療サービス等を観光資源として利活用し、沖縄観光の魅力の再構築を図るなど、世界水準の観光リゾート地としてのブランドイメージを高めることが重要な課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
外国人観光客の利便性の確保や満足度の向上を図るため、多言語による観光案内や通訳サービス、メニュー・ホームページ等の翻訳に係る費用の支援等、外国人観光客受入に係る取組を行う。						
実施主体	県	多言語コンタクトセンター運営、受入インフラ整備支援、インバウンド連絡会、緊急医療態勢整備等の実施				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【098-866-2764】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名	外国人観光客受入体制強化事業						R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：多言語コンタクトセンターの運営や通訳支援、インバウンド連絡会の実施、医療通訳コールセンターの運営等	
一括交付金(ソフト)	委託	245,965	253,759	256,172	278,836	286,558	30,406	一括交付金(ソフト)	OR2年度：外国人向け観光ガイドマップ等の作成、外国人観光客受入の県民意識啓発、インバウンドビジネスセミナーの開催、食の多様性対応の促進	
予算事業名	Be. Okinawa多言語コンタクトセンター運営事業						R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：—	
一括交付金(ソフト)	委託	—	—	—	—	—	54,358	一括交付金(ソフト)	OR2年度：多言語コンタクトセンターの運営	

様式1(主な取組)

予算事業名							インバウンド医療受入体制整備事業			
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
							当初予算額	主な財源	OR元年度：—	
一括交付金(ソフト)	委託	—	—	—	—	—	42,914	一括交付金(ソフト)	OR2年度：医療通訳コールセンターの運営等	
活動指標名	多言語コンタクトセンター対応				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	7,216件	7,756件	7,544件	6,387件	3,806件	—	100.0%	286,558	順調	<p>外国人観光客の満足度向上等を図るため、多言語で観光案内等を行う多言語コンタクトセンターの運営や、メニュー・ホームページ等の翻訳に係る費用の支援、インバウンド連絡会、医療態勢整備に係る医療コーディネーター養成研修等を実施した。</p>
活動指標名	受入インフラ整備支援				R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	177件	85件	96件	48件	48回	—	100.0%			
活動指標名	インバウンド連絡会				R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	5回	6回	4回	2回	3回	—	100.0%			
活動指標名	医療態勢整備				R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	実施	実施	実施	実施	—	100.0%			

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

多言語コンタクトセンターは、3,806件の利用があった。  
 受入インフラ整備支援は、メニュー・ホームページ等の翻訳支援を48件実施した。  
 インバウンド連絡会は、台風で中止となった八重山地域を除いて、3回実施した  
 医療体制整備については、インバウンド医療通訳コールセンターを運営するとともに各医療機関で個別勉強会を実施した。  
 上記により、外国人観光客の満足度向上を図ることができた。

## 様式1(主な取組)

(2)これまでの改善案の反映状況	
令和元年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"><li>外国人観光客の満足度向上に繋がる取組を継続するとともに、外国人観光客の更なる医療対応の環境整備を図るため、医療通訳コールセンターの運営に加えて、平成31年度より、医療機関等に対して「医療通訳者紹介」等も実施する。</li></ul>	<p>医療通訳者紹介窓口を設置すると共に、紹介を行う登録医療通訳者に対しては、スキルアップ研修を行った。</p>



### 3 取組の検証 (Check)

(1)推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)	
<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none"><li>外国人観光客受入体制強化事業については、細事業の分野が多岐にわたるため、事業を把握することがやや難しい面がある。</li><li>インバウンド連絡会については、同じように観光事業者を集め実施するインバウンドビジネスセミナーと統合して実施する等、スキームを見直して改善する余地がある。</li></ul>	<p>○外部環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>受入インフラ整備支援(翻訳支援)においては、近年、翻訳アプリ等の精度が向上しており、日本語のままでも観光客自身で翻訳結果を得られるようになってきている。</li></ul>
(2)改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)	
<ul style="list-style-type: none"><li>外国人観光客受入体制強化事業の実施体制を見直す必要がある。</li><li>外国人観光客の満足度向上を図る取組について効率化を図るため、取組の選択と集中を行う必要がある。</li></ul>	



### 4 取組の改善案 (Action)

<ul style="list-style-type: none"><li>外国人観光客受入体制強化事業の実施体制を見直し、業務の効率化を図る。</li><li>インバウンド連絡会及び受入インフラ整備支援については、スキームを一から見直す。</li></ul>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------





様式1(主な取組)

活動指標名	琉球王国のグスク及び関連遺産群の各種プロモーション等の実施				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	プロモーションの実施	—	100.0%	40,600	順調	<p>9つの構成資産まとめた、ストーリー性のあるプロモーションツールの制作を行い、国内外の旅行博出展、SNS広告、スタンプラリー等を実施するとともに、世界遺産の周遊実態調査を行い、周遊率等の把握を図った。</p>
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										<p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>プロモーション動画やパンフレット等のプロモーションツールの制作を行い、ストーリー性のある各種プロモーションの実施により、世界遺産の魅力発信、認知度向上を図った。</p>
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
—						—				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・世界遺産の周遊実態調査によると、複数の資産を巡っている割合は約半数であった。

##### ○外部環境の変化

・首里城の火災により、改めて琉球王国の歴史文化や文化財等に注目が集まっている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・世界遺産の魅力発信、認知向上を図り、世界遺産の周遊率を高めるためには、世界遺産所在自治体等と連携した取組を図る必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・スタンプラリーの実施や複数の資産を巡る観光客等に対して、入場料の減免等を適用するなど、登録20周年を契機とした新たな取り組みを各市村と連携して対応を実施する。



様式1(主な取組)

活動指標名	意見交換件数(参加市町村数)				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	20件	17件	23件	24件	33件	20件	100.0%	3,529	順調	離島観光の振興を図るため、離島観光振興会議を開催(10市町村参加)した他、地域観光協会等との意見交換を実施した。また、今年度の取組方法を評価するためアンケートを実施した。 その他、観光まちづくりアドバイザーの派遣を6件行った。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果  定期的を実施している離島観光振興会議の他、観光協会等の会議等における意見交換を行い、市町村が抱えている課題等の整理や県の観光施策の共有を図ることができた。意見交換件数は計画値(20件)を上回る実績(33件)となり、順調であった。
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
・平成31年度の離島観光振興会議は全離島を含め合同で実施し、類似環境等に応じた市町村のグループ分け、優良事例や課題の共有など、新たな形での実施を検討する。また、以降の開催方法については実施結果に応じて再検討するなど柔軟に対応する。						・令和元年度離島観光振興会議では、離島を有する地域を対象に地域独自の課題や実施事業の共有を図った。また、専門家を招聘しDMOに関する基調講話を実施した。 本会議開催の見直しに関するアンケートを実施した結果、大変よかった、よかったを合わせると78%であった。				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・令和元年度の離島観光振興会議の取組は一定の評価を得たが、実施したアンケートにおいて意見交換の時間を増やすべきとの意見があった。

##### ○外部環境の変化

・観光客の増加に伴い、市町村の抱える課題が多岐にわたっており、その状況は離島の規模等によって異なるものもあれば類似の課題も存在する。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・離島観光振興会議の開催内容の一部見直し、課題共有や意見交換の時間配分を検討する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・令和2年度の離島観光振興会議は開催方法はそのままに、課題の共有や意見交換を重視し、共有された課題や意見に対しアドバイザー派遣でアプローチをするなど、発展性のある会議実施を検討する。



様式1(主な取組)

活動指標名	条例制定、総務大臣協議、システム改修、関係者周知				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—	80.0%	374	概ね順調	<p>活動概要</p> <p>沖縄県法定外目的税制度協議会を2回、幹事会を3回、計5回の会議を開催し、制度設計素案を取りまとめ、観光事業者や県議会等に対して検討状況説明会を実施した。</p> <p>圏域別説明会を25回開催し、市町村及び観光事業者と意見交換するとともに、同説明会資料をHPに掲載した。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>令和1年度から2年度までの2年間の活動指標である条例制定や総務大臣協議に向け、圏域別説明会における意見を踏まえた上で、沖縄県法定外目的税制度協議会において制度設計素案を取りまとめるとともに、関係者への説明を行った。</p>
活動指標名	検討委員会の運営				R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	実施	—	—				
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>説明会を開催するにあたり、圏域を離島ごとに区分するなど、多くの宿泊事業者等が参加できるようにする。</li> <li>観光客や県民の理解を促進するために、税収がどのように使われ、沖縄観光の魅力・満足度向上にどう結びついていくのかを具体的に分かりやすく説明する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊事業者を含む観光事業者が少しでも多く参加できるよう、本島南部、中部、北部、宮古、八重山のブロックの他、小規模離島でも説明会を開催した。</li> <li>導入の必要性や検討委員会から提言を受けた内容を分かりやすくまとめ、関係事業者や市町村向けの説明会資料として活用するとともに、同資料をHPに掲載した。</li> </ul>				





## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・新税の制度設計について関連団体から要望が出されている。

○外部環境の変化

- ・日韓情勢や新型コロナウイルス感染症の世界的な流行等、社会情勢の急激な変化により観光を取りまく様々な状況が変化している。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・関係者から理解の得られる制度とする必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・観光業界及び市町村との意見交換を図る。
- ・観光を取り巻く状況を踏まえ条例の議会提案や条例施行の時期を判断する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	国際的な沖縄観光ブランドの確立	施策	③ スポーツコンベンションの推進
			施策の小項目名	○スポーツツーリズムの推進
主な取組	スポーツツーリズム戦略推進事業			
対応する主な課題	③観光客の平均宿泊日数や一人当たりの観光消費額は伸び悩んでいる状況にあり、ボトム期（閑散期）における観光客の増大、旅行者ニーズを踏まえた独自の着地型観光・滞在型観光の推進、沖縄型特定免税店をはじめショッピングの魅力を高める取組の強化等が課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
沖縄観光の新たな魅力の創出や着地型観光の拡充を目的とし、スポーツの活用により観光を推進・活性化させるためのモデル事業と連携した誘客促進等の実施と新たなスポーツツーリズム受入体制の整備を行う。		3事業以上 モデル事業数				
実施主体	県、市町村、民間					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【098-866-2708】					
		スポーツツーリズムモデル事業の実施、定着化促進、新規開拓				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名	スポーツツーリズム戦略推進事業（スポーツイベント支援事業）						R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源		
一括交付金（ソフト）	補助	65,871	62,198	55,657	76,326	82,340	51,518	一括交付金（ソフト）	OR元年度： 県内におけるスポーツイベントについて、新規4件及び定着化1件の補助を行った。また、2件の国際スポーツ大会に対し補助を行った。 OR2年度： 県内におけるスポーツイベントの創出を図り、定着化、自走化に向け3件以上の補助を行う。また、1件の国際スポーツ大会に対する補助を行う。	
予算事業名	—						R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：	
									OR2年度：	

様式1(主な取組)

活動指標名	スポーツツーリズムモデル事業数				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	8件	6件	6件	4件	5件	4件	100.0%	82,340	順調	スポーツを通じた観光誘客を推進するため、県内におけるスポーツイベントの創出を図り、定着化、自走化に向け5件の補助対象事業者に対し、補助を行った。
活動指標名	—				R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										新規のスポーツイベントには補助率を高く設定し、2年目以降のスポーツイベントは補助率を下げるなど、スポーツイベントの定着化が図られるよう、支援枠を設定しており、モデル事業数が計画値を上回る5事業となったため順調とした。
活動指標名	—				R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>採択事業者に対し、参加者の募集や協賛金の獲得等、アドバイザーによる定着化・自走化を目指した定期的な支援を行う。</li> <li>スポーツイベント情報を多く扱うwebサイト等を活用して、イベント情報の発信を支援する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>アドバイザーによる面談及びメール等での支援を定期的に行った。</li> <li>スポーツイベント情報が集まるwebサイトやプレスリリース会社を活用し、イベント情報の発信を行った。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・平成24年度から平成30年度に支援したイベントのうち、翌年自走化したイベントは55.6%である。
- ・創出したスポーツイベントの定着・自走化を図るためには、安定的な収入や執行体制が必要である。

##### ○外部環境の変化

- ・国際情勢や感染症等に起因する旅行控えやスポーツイベントの延期・中止等により、入域観光客数に影響が出ている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・引き続き、イベントに精通したアドバイザーによる事業者支援を行う必要がある。
- ・国際情勢や感染症等に起因する入域観光客数やイベント等の参加者数の減に関し、対応する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・採択事業者に対し、安定的な収入の獲得方法等、アドバイザーによる定着化・自走化を目指した定期的な支援を行う。
- ・スポーツイベント情報を多く扱うwebサイト等を活用して、イベント情報の発信を支援する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	国際的な沖縄観光ブランドの確立	施策	③ スポーツコンベンションの推進
			施策の小項目名	○スポーツツーリズムの推進
主な取組	スポーツ観光誘客促進事業			
対応する主な課題	①観光リゾート産業のさらなる振興に向けては、沖縄の重要な観光資源である自然環境や「沖縄らしい」風景・景観の保全・再生を図りつつ、文化、スポーツ、医療サービス等を観光資源として利活用し、沖縄観光の魅力の再構築を図るなど、世界水準の観光リゾート地としてのブランドイメージを高めることが重要な課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
マラソン大会、サイクリングイベントなど沖縄のスポーツイベント及びスポーツ環境のプロモーション等を行うことで県外・海外からの誘客を図り、県民のスポーツに触れる機会（観る、参加する）の創出を図る。						
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【098-866-2708】					
		スポーツ観光のプロモーション				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	スポーツ観光誘客促進事業						R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度： 県外のマラソン大会やサイクリングイベントにおけるブース出展等により、沖縄県へのスポーツ旅行に係るプロモーションを実施した。 OR2年度： 県外のマラソン大会やサイクリングイベントにおけるブース出展等により、沖縄県へのスポーツ旅行に係るプロモーションを実施する。
							一括交付金（ソフト）	委託	
予算事業名	—						R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：

様式1(主な取組)

活動指標名	スポーツ観光のプロモーション				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	プロモーションの実施	プロモーションの実施	—	100.0%	69,647	順調	<p>活動概要</p> <p>沖縄の年間を通じて温暖な気候とスポーツ資源を活用したスポーツツーリズムの普及・定着及び観光誘客を促進するため、マラソン大会やサイクリングイベントにおけるブース出展や、県外・海外の見本市への出展等により、沖縄県へのスポーツ旅行に係る誘客プロモーションを実施した。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>マラソン・サイクリング・ゴルフの重点種目に特化した沖縄のスポーツ環境のPRや沖縄関係イベントにおけるビーチヨガ、SUP等のスポーツアクティビティのPR、Jリーグ、Bリーグの公式戦におけるFC琉球及び琉球ゴールデンキングスホーム戦への誘客PR等、25件のプロモーションを実施し、スポーツ観光の促進を図った。</p>
活動指標名	—				R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名	—				R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<p>・FC琉球や琉球アスティーダなど、盛り上がりを見せている県内プロスポーツチームを活用した観光誘客及び県民のスポーツに関する気運醸成のためのプロモーションを機を逸することなく効果的に実施する。</p>						<p>・FC琉球が所属するJリーグと琉球ゴールデンキングスが所属するBリーグの公式戦において、観光誘客及び県民のスポーツに関する気運醸成のためのプロモーションを実施した。</p>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・沖縄へのスポーツ旅の誘客を増加・定着させるためには、沖縄の優位性・独自性を活かしたスポーツ旅のPRや県内のスポーツに関する気運醸成が重要である。

##### ○外部環境の変化

・国際情勢や感染症等に起因する旅行控えやスポーツイベントの延期・中止等により、入域観光客数に影響が出ている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・スポーツへの参加及びスポーツの観戦を目的とした沖縄へのスポーツ旅の誘客を図るためには、沖縄県がスポーツで盛り上がっていることを実感することができる雰囲気作りが必要である。

### 4 取組の改善案 (Action)

・FC琉球や琉球アスティーダなど、盛り上がりを見せている県内プロスポーツチームを活用した観光誘客及び県民のスポーツに関する気運醸成のためのプロモーションを機を逸することなく効果的に実施する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	国際的な沖縄観光ブランドの確立	施策	③ スポーツコンベンションの推進
			施策の小項目名	〇スポーツ・キャンプ、コンベンションの誘致
主な取組	スポーツコミッション沖縄体制整備事業			
対応する主な課題	①観光リゾート産業のさらなる振興に向けては、沖縄の重要な観光資源である自然環境や「沖縄らしい」風景・景観の保全・再生を図りつつ、文化、スポーツ、医療サービス等を観光資源として利活用し、沖縄観光の魅力の再構築を図るなど、世界水準の観光リゾート地としてのブランドイメージを高めることが重要な課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
スポーツを目的とした来訪者の利便性向上のため、各種スポーツ合宿等の誘致・受入を行うワンストップ窓口としてスポーツコミッション沖縄を設置し、スポーツアイランド沖縄の認知度向上と誘客拡充を図る。						
		ワンストップ化によるスポーツ観光の受入支援				
実施主体	県、市町村、関係団体					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【098-866-2708】					
		国内外代表チーム、社会人、学生等のスポーツ合宿誘致				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度： 沖縄県体育協会に設置している「スポーツコミッション沖縄」においてスポーツコンベンション実施に係る相談対応等の各種取組の実施。	
一括交付金(ソフト)	補助	40,150	35,286	42,453	37,410	41,435	28,050	一括交付金(ソフト)	OR2年度： 沖縄県体育協会に設置している「スポーツコミッション沖縄」においてスポーツコンベンション実施に係る相談対応等の各種取組の実施。	

  

予算事業名							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：	
									OR2年度：	



様式1(主な取組)

活動指標名	ワンストップ窓口への相談件数				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	62件	197件	238件	179件	190件	—	100%	41,435	順調	<p>各種スポーツキャンプ等の誘致・受入を行うワンストップ窓口として、スポーツコンベンション実施に係る相談対応等の各種取組を実施した。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>スポーツキャンプ等の受入を行うワンストップ窓口として、スポーツコンベンション実施に係る相談対応やWEBサイトにおける県内スポーツ施設の情報掲載など、スポーツを目的とした来訪者の利便性向上を図るとともに、県内での各種スポーツコンベンション開催に係る情報発信等により本県のスポーツ環境のPRを図ることができた。</p> <p>令和元年度における国内外代表チームによる県内での合宿件数は29件となり、増加傾向にある。</p>
活動指標名	国内外代表チームの合宿件数				R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	14件	28件	27件	28件	29件	—	100%			
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<p>・スポーツコミッション沖縄WEBサイトにおける県内スポーツ施設の詳細情報及び検索機能の多言語化を行う。またSNS等を活用し、「Sports Islands OKINAWA」のロゴマークを国内外へ発信・露出する取り組みを行う。</p>						<p>・スポーツコミッション沖縄WEBサイトにおける県内スポーツ施設の詳細情報及び検索機能の強化及び英語対応を行い、スポーツを目的とした来訪者の利便性向上を図った。また、WEBサイトや各種SNS等を活用し、県内での各種スポーツコンベンション開催に係る情報発信及びそれに伴う「Sports Islands OKINAWA」ロゴマークの露出を行い、本県のスポーツ環境のPRを図った。</p>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・スポーツキャンプの受入にあたり、スポーツキャンプ実施者から交流試合、クリニック、審判等の手配依頼があった場合、県内競技団体が快く協力に応じるための環境整備を図る必要がある。

##### ○外部環境の変化

・海外のスポーツ団体による県内でのスポーツキャンプが実施されつつあるが、県内の競技団体が交流試合、クリニック、審判等で関わる際に、文化や言語の違いによるルール・マナー等の問題が生じるケースが出てきている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・県内で海外のスポーツ団体によるスポーツキャンプが持続的に実現し、スポーツコンベンションを拡大発展させていくには、事前にルール・マナー等を共有するなど、スポーツキャンプ実施側と受入側のトラブルを未然に防ぎ、両者が理解し合い、良好な関係性を築くことが重要である。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・スポーツキャンプの実施にあたり、特に遵守すべきルールやマナーをまとめた「スポーツキャンプ ルール・マナーガイド」を作成する。
- ・海外のスポーツ団体が県内でスポーツキャンプを実施する場合、そのほとんどが県内の旅行代理店を仲介して行われることから、旅行代理店を訪問してその内容を説明するとともに、旅行代理店を通じてスポーツキャンプ実施者への周知を図る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	国際的な沖縄観光ブランドの確立	施策	③ スポーツコンベンションの推進
			施策の小項目名	〇スポーツ・キャンプ、コンベンションの誘致
主な取組	スポーツコンベンション誘致事業			
対応する主な課題	①観光リゾート産業のさらなる振興に向けては、沖縄の重要な観光資源である自然環境や「沖縄らしい」風景・景観の保全・再生を図りつつ、文化、スポーツ、医療サービス等を観光資源として利活用し、沖縄観光の魅力の再構築を図るなど、世界水準の観光リゾート地としてのブランドイメージを高めることが重要な課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
国内外からのスポーツコンベンションの誘致を図るため、情報の発信や各種スポーツコンベンションの歓迎支援策等を実施する。		45件				
実施主体		県、市町村				
担当部課【連絡先】		文化観光スポーツ部スポーツ振興課		【098-866-2708】		
		スポーツコンベンションの歓迎の機運醸成等				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	サッカーキャンプ誘致戦略推進事業						R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
	主な財源	実施方法	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算見込額	当初予算額	主な財源
県単等	委託	8,778	5,018	4,470	4,686	3,768	3,769	県単等	OR元年度： 沖縄県でキャンプを実施するプロスポーツチーム等に対して地域特産品を贈呈するなど、スポーツコンベンションの気運醸成等を図った。 OR2年度： 沖縄県でキャンプを実施するプロスポーツチーム等に対して地域特産品を贈呈するなど、スポーツコンベンションの気運醸成等を図る。

  

予算事業名							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
	主な財源	実施方法	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算見込額	当初予算額	主な財源
									OR元年度： OR2年度：

様式1(主な取組)

活動指標名	歓迎支援件数（沖縄県でキャンプを実施するプロスポーツチーム等に対する地域特産品の贈呈等）				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要	
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
	35件	47件	41件	44件	36件	46件	78.3%	3,768	概ね順調	沖縄県でキャンプを実施するプロスポーツチームに対して地域特産品や花束の贈呈等を行ったほか、ウェルカムボードや横断幕を制作するなど、県民を挙げてのスポーツコンベンション受入歓迎の気運醸成を図った。	
活動指標名					R元年度						
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	<p>歓迎支援件数は、プロサッカーで19件、プロ野球で17件の計36件となり、計画値の46件に及ばない結果となった。</p> <p>要因としては、日韓情勢の悪化による韓国球団のキャンプ実施件数の減や新型肺炎の影響による中国サッカーチームのキャンプ中止・歓迎式の自粛といった外的要因が挙げられる。</p> <p>次年度も、引き続きプロチームを歓迎するための各種取組を実施し、スポーツコンベンションの気運醸成を図る。</p>
活動指標名					R元年度						
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
(2)これまでの改善案の反映状況											
令和元年度の取組改善案						反映状況					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツコンベンション誘致受入の県域的な拡大に向けて、スポーツコミッション沖縄を中心として受入市町村や関係競技団体等と連携し、地域の受入ノウハウのレベルの平準化を図る。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地で実施されたキャンプチーム歓迎セレモニーに係る取組の成果や課題点を集約し、受入市町村、関係団体等が参加する連絡協議会において情報共有を図った。</li> </ul>					



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・各市町村が主体となって実施している歓迎セレモニーについて、同じカテゴリーのスポーツチームに対しても、自治体間によって歓迎ムードの創出に違いが生じている。

##### ○外部環境の変化

・スポーツコンベンションの誘致について、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて他の都道府県との間で競争が激しくなっている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・受入市町村のスポーツコンベンションに対する歓迎支援の成果や課題を共有化し、支援内容等について検討する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・スポーツコンベンション誘致受入の県域的な拡大に向けて、スポーツコミッション沖縄を中心として受入市町村や関係競技団体等と連携し、歓迎式における支援内容等において助言・アドバイスを行うことにより、地域の受入ノウハウのレベルの平準化を図る。



様式1(主な取組)

活動指標名	整備に向けた調査の実施				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	基本計画 策定 課題整理	基本計画 策定 課題整理	複合機能 の導入可 能性検討	調査実施	—	75.0%	14,968	概ね順調	令和元年度は、H30年度の複合機能の導入可能性や整備手法等の検討を踏まえ、民間資金の活用可能性や事業方式等の検討を実施した。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										民間資金の活用可能性を把握するための投資意向に関するサウンディング調査等を実施した。 また、サウンディング調査等を踏まえ、官民連携による事業方式等について、有識者による検討委員会を開催し、一定の方向性を提言書として取りまとめた。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<p>・平成30年度調査により確認した民間事業者の意向を踏まえながら、さらに詳細なサウンディング調査等を実施し、民間活力の導入検討等を行う。</p>						<p>・令和元年度は、H30年度の複合機能の導入可能性や整備手法等の検討を踏まえ、民間活力資金の活用可能性を把握するための投資意向に関するサウンディング調査を実施した。</p>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・整備費の民間負担の可能性をサウンディング調査において把握したが、スタジアムは収益性が乏しく、多くの負担を民間に求めるのは困難な状況である。
- ・スタジアム整備計画地である奥武山公園は、「都市計画法」や「都市公園法」の制限があり、整備に向け法規制への対応が必要である。

##### ○外部環境の変化

- ・FC琉球は2018シーズンJ3で優勝し、2019シーズンはJ2昇格に加え、J1への参加資格となるライセンスを取得し、県民のサッカーに対する期待が高まっている。
- ・平成30年12月18日付けで県サッカー協会を中心としたサッカー関係団体よりJリーグ規格スタジアム整備の早期推進の要請があった。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・令和元年度の調査内容を踏まえ、事業方式、財源、スケジュール等について、庁内検討を進める必要がある。
- ・整備計画地における「都市計画法」や「都市公園法」の法規制への対応について、引き続き関係者と調整を実施する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・令和元年度の調査内容を踏まえ、事業方式、財源、スケジュール等について、庁内検討を実施する。
- ・整備計画地における「都市計画法」や「都市公園法」の法規制への対応について、引き続き関係者と調整を行う。





様式1(主な取組)

活動指標名	プロ野球キャンプ等訪問観光促進の取組				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	—	100%	43,302	順調	ファン感謝イベントを活用した情報発信、プロ野球沖縄キャンプ開幕イベントの実施、那覇空港でのプロ野球沖縄キャンプPRブース設置、ガイドブックの配布等により、プロ野球キャンプ集積地ならではの取組を実施する。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来訪者によるアンケート調査で好評であった那覇空港でのキャンプPRブースについて、グッズの追加設置等により来訪者の満足度を向上させ、SNSによる拡散を図るなど、キャンプ地としての盛り上がりの創出や来訪の動機作りに繋がる取組を行う。</li> <li>・ 各球団とファンの玄関口となる那覇空港を中心に、プロ野球沖縄キャンプのロゴ等で装飾し、沖縄県全体で歓待ムードを醸成するとともに、本事業に係る各種取組の周知を図る。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 那覇空港でのプロ野球沖縄キャンプPRブースにおいて、球団ユニフォーム展示、写真撮影バックパネル、VR体験アトラクション設置等により、来訪者の満足度向上及びSNSでの拡散を図り、キャンプ地としての盛り上がりの創出や来訪の動機作りに繋がる取組を実施した。</li> <li>・ 那覇空港や国際通り、ショッピングモール等でのプロ野球沖縄キャンプロゴマーク装飾を行い、プロ野球キャンプ受入の機運醸成を図った。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・沖縄県内におけるプロ野球キャンプの観客数は右肩上がり増加し、順調に推移している一方で、各キャンプ地において駐車場の不足、周辺道路の渋滞などの問題が生じている。

##### ○外部環境の変化

・県外からの来訪者から各キャンプ地への分かりやすいアクセス情報を求められている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・沖縄県がプロ野球キャンプ開催地としてのブランド化を確立し、プロ野球キャンプを目的とした来訪者数の更なる増加を図るためには、キャンプ地へのアクセス等の来訪者の利便性を高める取組を検討する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・プロ野球沖縄キャンプ攻略ガイドブックや専用WEBサイト等において、バス・モノレール等でのアクセス方法や路線バス周遊パス等の公共交通機関情報を掲載・発信し、プロ野球キャンプを目的とした来訪者の利便性を高める取組を行う。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	国際的な沖縄観光ブランドの確立	施策	③ スポーツコンベンションの推進
			施策の小項目名	○スポーツ・キャンプ、コンベンションの誘致
主な取組	サッカーキャンプ誘致戦略推進事業			
対応する主な課題	⑤国際的な沖縄観光ブランドの確立に向けて、国内観光客のみならず、アジア地域や欧米等の外国人観光客を誘致する必要があり、沖縄本島に加えて、自然、文化等多様な魅力を有しながら認知度等に課題がある離島地域の積極的な活用が課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
サッカーキャンプの誘致を推進し、市町村及びキャンプ実施チーム等との連携強化、キャンプを目的とした観光客の増加及び経済効果の向上・地域活性化を図ることで、サッカーキャンプ地としてのブランド化を図る。		23件 キャンプ 誘致件数	24件	25件	26件	27件
		サッカーキャンプ誘致の取組				
実施主体	県、市町村					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課		【098-866-2708】			
		受入市町村の創出、県内スポーツターフ管理者の技術向上等				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度： サッカーキャンプ誘致・誘客に資する取組、トレーニングマッチのコーディネート、経済効果の検証等	
一括交付金(ソフト)	委託	61,454	59,553	41,665	35,294	39,897	27,835	一括交付金(ソフト)	OR2年度： サッカーキャンプ誘致・誘客に資する取組、トレーニングマッチのコーディネート、経済効果の検証等	
予算事業名							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：	
									OR2年度：	

様式1(主な取組)

活動指標名	サッカーキャンプ誘致件数				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
実績値	21件	22件	24件	28件	29件	25件	100.0%	39,897	順調	<p>活動概要</p> <p>県外クラブ訪問等の誘致活動を行ったことやキャンプ受入市町村の芝環境を整備したこと等により、キャンプ実施クラブの拡大を図った。また、サッカーキャンプガイドブックの配布、専用WEBサイトでの練習日程やトレーニングマッチ等の情報を発信することで、沖縄サッカーキャンプのPRや効果検証を図った。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>県外クラブへの訪問や来沖クラブの視察に帯同するなど、誘致活動を積極的に行ったほか、市町村、宿泊施設、キャンプ関係者等と連携し、芝・宿泊・医療環境等を整え、受入体制を強化したこと等により過去最高29のクラブを誘致することができた。</p>
活動指標名					R元年度					
実績値										
活動指標名					R元年度					
実績値										
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>サッカーキャンプ受入市町村等と連携し、ガイドブックをはじめとする各種情報発信媒体等において、受入市町村の観光資源に係る情報等を効果的に発信することにより、サッカーファンの誘客を促進し、地域振興に寄与する取組を実施する。</li> <li>受入施設を拡大するため、県内各市町村と連携することにより、質の高い芝環境の整備を実施する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>サッカーキャンプ受入市町村等と連携し、ガイドブック、キャンプ地情報発信拠点施設、キャンプ専用WEBサイトにおいて、受入市町村の観光資源に係る情報等を効果的に発信し、サッカーキャンプを目的とした訪問者数の増加、経済効果の向上及び地域活性化に寄与する取組を行った。</li> <li>今年度は豊見城市の豊見城運動公園陸上競技場を新たなキャンプ受入施設として整備したとともに、県内キャンプ受入施設の土壌・クオリティ調査を実施し、芝質の維持・向上を図った。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・ 離島においては、実践相手 (トレーニングマッチ) の確保が課題となっている。

##### ○外部環境の変化

・ Jクラブや海外クラブから沖縄キャンプの実施希望が多くあるが、受入可能なグラウンドが不足している状況である。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 地域振興を図るため、サッカーキャンプ受入市町村及びクラブと連携し、集積地ならではの全県的な取組を推進する必要がある。  
・ キャンプ実施クラブ数を増やすため、受入施設の拡大を図る必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・ サッカーキャンプ受入市町村等と連携し、ガイドブックをはじめとする各種情報発信媒体等において、受入市町村の観光資源に係る情報等を効果的に発信することにより、サッカーファンの誘客を促進し、地域振興に寄与する取組を実施する。  
・ 受入施設を拡大するため、県内各市町村と連携することにより、質の高い芝環境の整備を実施する。